

2020年2月26日

欧州におけるエンジニアリングプラスチックのリサイクル会社の買収について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進に向けた取り組みの一環として、スイスにあるエンジニアリングプラスチック（エンプラ）のリサイクル会社である Minger Kunststofftechnik AG 及び Minger Plastic AG（以下、総称して「Minger グループ」）を、当社のグループ会社である Mitsubishi Chemical Advanced Materials（本社：スイス・チューリッヒ、CEO：Michael Koch、以下「MCAM」）を通して買収^{※1}することを決定いたしました。なお、本買収は2020年2月末を目途に完了する予定です。

当社は、三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる「KAITEKI Vision 30^{※2}」のもと、サーキュラーエコノミーを KAITEKI^{※3}実現のキーエレメントと位置付けており、プラスチックのリサイクルはその重要な取り組みの一つと考えています。

Minger グループは、PEEK（ポリエーテルエーテルケトン）や PVDF（ポリフッ化ビニリデン）、ナイロンなどのエンプラについて独自の優れたリサイクル技術を保有しています。また、欧州域内に広域な原料回収ネットワークを構築し、リサイクル材の取引においては既に 100 を超える顧客と取引実績があり、欧州におけるエンプラリサイクルのビジネスモデルを確立しています。

この買収により、当社は、エンプラの製造から販売・加工・回収・再利用に至る一貫したビジネスモデルを構築することになります。今後もエンプラ業界のフロントランナーとしてユーザーへのソリューション提案力を強化し続けるとともに、循環型社会の実現に向けて貢献してまいります。

※1 本買収は、株式取得ではなく、製造設備等の資産譲渡及び営業権その他一切の権利義務の承継を行う方式を採用しています。

※2 三菱ケミカルホールディングスの次期中期経営計画の骨格となる 2030 年を見据えたサステナビリティビジョンを指します。

※3 当社は、KAITEKI を「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」と定義しています。

■ Minger グループの概要（2018年12月末時点）

所在地：スイス アッペンツェル

事業内容：スーパーエンプラ、汎用エンプラ廃材の回収、リサイクル材の製造販売

従業員数：26名

売上高：9.3百万ユーロ

以上

お問合せ先 株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 TEL 03-6748-7140
